

緊急注意喚起情報

米づくり技術情報 No. 8

令和3年7月15日

斑点米カメムシ類が急増！ もう一度草刈りを徹底してください！

山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト本部

7月12日に病害虫防除所から「農作物有害動植物発生予察情報 注意報第1号（斑点米カメムシ類）」が発表されました。
斑点米カメムシ類の発生量が急増しています。
もう一度草刈りを徹底しましょう！

1 発生状況

7月前半（7月5～8日）に実施した畦畔・農道におけるすくい取り調査（調査地点数：44 か所）によると、平均すくい取り虫数は28.3 頭（平年：17.1 頭）と多くなっています。特に、ここ半月の間に地点当たりの虫数が急増しています。

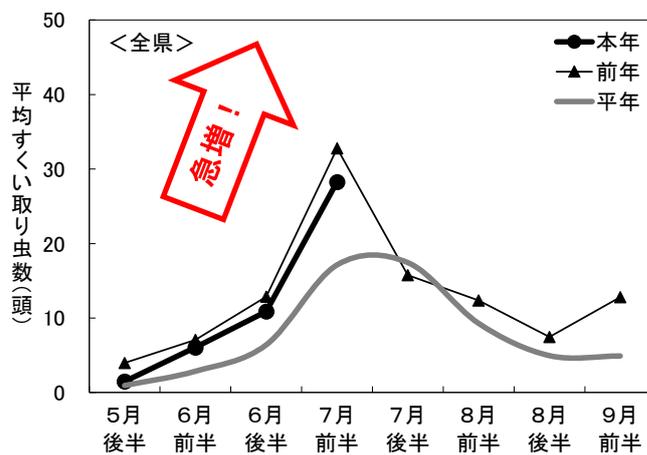


図 畦畔・農道における斑点米カメムシ類の平均すくい取り虫数の推移

2 出穂前までの防除対策

- (1) 水田内にホタルイやノビエが多いほ場では、斑点米カメムシ類の水田内での発生が多くなるので除草対策を徹底する。
- (2) 畦畔、農道、休耕田等で現在雑草が繁茂しているところでは、速やかに除草対策を行う。
- (3) 出穂2週間前頃（7月中旬）までに、もう一度、畦畔、農道、休耕田等の除草対策を徹底し、生息場所での密度低減を図る。
- (4) アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメは移動性が高いことから、地域ぐるみで一斉に除草対策を行い、地域全体の密度低減を図る。
- (5) 出穂前後の草刈りは、斑点米カメムシ類の水田侵入を促し、斑点米の発生を助長するので、原則行わない。やむをえず草刈りを行う場合は、水田の薬剤防除計画に合わせて実施する。